

2024-25 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 寺島 英樹
幹事 佐藤 宗弘
奉仕プロジェクト
委員会委員長 宮崎 秀剛
会報写真担当 佐藤 卓立

令和7年1月20日(月) 第19回 通算第1717回例会

・例会日/月曜日 12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎ (024) 535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第19回例会 点鐘 12:30

- ◇開会点鐘 宮崎 秀剛 会長エレクト
- ◇国歌斉唱
ロータリーソング
「それでこそロータリー」
ソングリーダー
佐藤 慶行 会員



- ◇四つのテスト唱和
高根 典子 会員



- ◇お客様紹介並びにビジター紹介
米山記念奨学生 稽 鐘源 さん
- ◇米山記念奨学金1月分給付



- ◇国際ロータリー伝達式・R財団寄付



- 寺島 英樹 会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー第2回
- 佐藤 慶行 会員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー第2回
- 小野 俊憲 会員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー第2回
- 佐藤 卓立 会員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー第1回
- ◇1月誕生祝い



- 野尻 榮一 会員 昭和19年1月10日
- 大平 謹一郎 会員 昭和20年1月20日
- 佐藤 卓立 会員 昭和42年1月19日
- 庄司 強志 会員 昭和39年1月20日

- ◇優良従業員表彰
高橋智弘会員事業所 佐藤 正和 様
代理 高橋 智弘 会員



- ◇会長エレクトあいさつ

宮崎 秀剛 会長エレクト



福島西ロータリークラブ会報

◇幹事報告

佐藤 宗弘 幹事

- 今年度下期会費等のご案内をさせていただいておりますが2月末日までのご納入を宜しくお願いいたします。
- 今週25日（土）県北第一分区青少年奉仕セミナーが杉妻会館にて開催されます。佐藤慶行青少年奉仕委員長・久米会員・幹事の3名が出席いたします。
- 3月15日（土）県北第一分区・第二分区合同新会員オリエンテーションがアーバンホテル二本松にて開催されます。登録料は全額クラブ負担といたしますのでご参加の程、宜しくお願いいたします。
- 次週27日の例会は創立記念夜間例会で18時30分よりエルティにて開催いたしますので宜しくお願いいたします。
- 1月のロータリーレートは1ドル157円となっております。

◇青少年奉仕委員会

佐藤 慶行 委員長



◇公共イメージ委員会報告

佐藤 卓立 委員長

- 「ロータリーの友」1月号紹介



委員会報告

◇出席・スマイリングブック ス小委員会報告

久米 允彦 会員



○宮崎秀剛会長エレクト

本日の例会、宜しくお願い致します。なんか久しぶりな感じがしますね。

○佐藤宗弘幹事

職業奉仕月間に因んで高橋智弘委員長のスピーチ宜しくお願い致します。佐藤正和様におかれましては、優良従業員表彰おめでとうございます。

○高橋智弘会員

あまり興味のない話ですが、お付き合いください。

○西形健吉会員

今年に入って、JRAの成績は若元春状態です。

○大平謹一郎会員

今年も宜しくお願い致します。誕生祝、有難うございます。高橋智弘さんのスピーチ楽しみにしています。

○高根典子会員

優良従業員表彰おめでとうございます。当店も頑張っています。

○野尻榮一会員

高橋智弘委員長スピーチに添えて

朝倉久仁男会員／久米允彦会員／黒澤信之会員／佐藤卓立会員／佐藤慶行会員／高梨哲男会員

スマイリングBOX集計 13件 26,000円

ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム

「職業奉仕月間に因んで」

◆高橋智弘職業奉仕委員長



本日は、職業奉仕月間にちなんでスピーチさせていただきます。

まずは、本日出席予定でした弊社従業員の佐藤正和が仕事の都合により出席できませんでしたので、大変申し訳ありませんでした。お詫びいたします。

さて、職業奉仕月間という事ですが、何を話せばいいかわからなかったのも、私の職業であります鋼材に関して少しスピーチさせて頂こうと思います。一般的に鋼材と言っても、鉄の材料とだと言う事ぐらいで、一部の会員の方を除き、さほど関わり合いはないと思います。自動車や冷蔵庫、屋根や壁などの材料といった薄板、船や橋、ビルなどの建築材、水道やガス・石油を運ぶパイプに、街灯や看板の鋼管、その他にも釘や針金、ワイヤーロープなど、我々の生活のあらゆる面で鋼材は存在しています。この鋼材を造る製鉄所の設備には高炉と電炉があります。高炉とは鉄鉱石を原料として銑鉄を生産するところから、転炉工程、 casting 工程や連続 casting 工程を経て最終製品の製造までを一つの敷地内で行う銑鋼一貫製鉄所です。高炉メーカーには今何かと話題になっている日本製鉄・JFEスチール・神戸製鋼所の3社があり、製品力・資本力・社会的影響力・研究開発力など日本の鉄鋼業界トップの地位にあります。

しかし、最近の高炉メーカーは、高炉での鉄鉱石還元は環境負荷が極めて大きいため、銑鉄を減らして転炉工程でのスクラップ投入量を大きくする、電気炉での生産を大きくするなど、鉄リサイクルを中心とした業態への変更を迫られている。高炉に対して電炉とは、鉄スクラップを原料として電気炉で鉄鋼を生産するこ

とで、鋼材の中では主に鉄筋・L形鋼・平鋼・鋼板が主力製品とする普通鋼を生産しています。高炉は鉄鉱石や原料炭を主原料としていますが、電炉は鉄スクラップを主原料として、粗鋼生産比率は高炉が7割、電炉が3割程度で、電炉メーカーは60社ほどあります。

鉄鋼を製造する具体的な工程は高炉と電炉であまり変わりはありません。お渡した鉄をつくるという16工程ある資料を見ていただくとおわかりのように、転炉よりまえの工程が高炉での主工程で、そのあとは同じです。ただし、鉄スクラップには不純物が含まれている為、電炉製の鉄鋼の加工性は高炉製のそれに及ばないというデメリットを持つとされてきたが、近年はその不純物を有効活用して高級鋼板が製造可能になってきている。電炉は高炉（東京ドーム200個分）ほど広大な土地を必要とせず、生産規模の融通が利く上に、建設費用も高炉より安く、減価償却負担も軽く、市況状況に応じて操業を停止させることも容易であるメリットがある。高炉は一度火入れすると設備上の問題で操業をなかなか停止できない。

電炉は鉄スクラップを原料とするため、鉄スクラップが豊富な先進国が発展しやすく、アメリカや日本では1980年代以降に発展した。日本も90年代は一部輸入に頼っていましたが、その後自給化が進み、今はアジア諸国に輸出する立場になっています。

鉄スクラップを原料にするため、環境保護。リサイクルの観点から重要な役割を担っている。鉄鋼メーカーから出る自社発生屑、自動車工場や機械工場から発生する工場発生屑、その他にも建築物の解体屑、廃車、空き缶などからもスクラップは採取できる。自社発生屑を除いた構成比は、おおよそ工場発生屑は25%、建築廃材が25%、機械廃材が20%、土木廃材が15%、自動車廃材が15%です。また、電炉は高炉に比べ生産量あたりに発生する二酸化炭素の量が少なく、最近では高炉メーカーも二酸化炭素発生量低減の目的で原料の10%強は鉄スクラップを使用しています。

1990年代からは、本来高炉メーカーで占められていた大型H形鋼や圧延鋼板。表面処理鋼板に参入し、2009年には東京製鐵が高炉品より安い電炉品で国内自動車メーカーに納入するようになりました。

国内で排出される二酸化炭素のうち、産業部門の4割近くを占めているのが鉄鋼業です。電炉は高炉に比べて同じ量の鋼材を生産する際に出る二酸化炭素の量は約1/4に抑えられます。また、電炉は鉄スクラップを原料に使うため高いリサイクル率で資源循環が成立します。最近では「環境」をキーワードに、日本の大手建設会社も高炉材から電炉材に切り替えて温室効果ガス削減効果を求めるようになってきました。

ただ、日本製鉄も「日本製鉄カーボンニュートラルビジョン2050」と題して、「高炉水素還元」「水素による還元鉄製造」と水素を利用した製鋼を目指して実験中であり、「大型電炉での高級鋼製造」も開始しています。

また、最近何かと話題のUSスチール買収ですが、日本製鉄は国内の鉄鋼需要が縮小しているため、海外市場での競争力強化とグローバルな成長を目指して、USスチール買収によりアメリカ市場での地位を確立するためです。USスチールは鉱山資産を持っており、原材料の自社での安定供給が可能であることと、環境負荷を低減する最新技術を活用した電炉での鉄鋼製造を展開しています。ちなみに生産量で言うと、日鉄は年間約4,900万トンで、USスチールが約1,700万トンです。こ

の前ニュースにもあったアメリカ大手鉄鋼メーカーのクリーブランド・クリフスがえらい剣幕で怒り、買収に意欲を見せていたのは、記憶に新しいところです。この問題はトランプ政権になるのを考えると、日本にとって重要な案件だと思います。

以上、つたない話をしてしまいましたが、スピーチを終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◇閉会点鐘	宮崎 秀剛	会長エレクト
◇会報カメラ担当	佐藤 卓立	委員長
公共イメージ委員会		